

- 第一三共胃腸薬コアブロック散剤
- 第一三共胃腸薬コアブロック錠剤
- 新センロック散剤
- 新センロック錠

【使用上の注意】

使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
フェニルケトン尿症の人
(本剤はL-フェニルアラニン化合物を含有するため)
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないで下さい。
胃腸鎮痛鎮痙薬
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。
(母乳に移行して乳児の脈が速くなることがあります)



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 高齢者
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (5) 次の症状のある人
排尿困難
 - (6) 次の診断を受けた人
腎臓病、心臓病、緑内障、甲状腺機能障害、血栓のある人(脳血栓、心筋梗塞、血栓性静脈炎等)、血栓症を起こすおそれのある人

【解 説】

1. 添加物としてアスパルテーム(L-フェニルアラニン化合物)を配合しています。
必須アミノ酸のフェニルアラニンをチロシン(アミノ酸)に分解するフェニルアラニン水酸化酵素が、先天的に欠損しているフェニルケトン尿症の人は本剤を服用しないよう注意が必要です。
2. 共通事項解説〔2〕参照
3. ロートエキスは母乳に移行することが知られています。その母乳を乳児が摂取すると乳児の脈が一時的に速くなることがありますので、授乳中は服用しないか、服用する場合は授乳を避ける必要があります。
1.
 - (1) 共通事項解説〔4〕参照
 - (2) 共通事項解説〔5〕参照
また、ロートエキスにより、胎児に頻脈等があらわれることがあるので、注意が必要です。
 - (3) 共通事項解説〔6〕参照
 - (4) 共通事項解説〔7〕参照
 - (5) ロートエキスの抗コリン作用により、膀胱の緊張が減少することがあるため、症状が悪化し、さらに尿が出にくくなるおそれがあります。また、前立腺肥大がある場合には、尿閉があらわれるおそれがあります。
 - (6) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがありますので、服用前に相談が必要です。
 - 腎臓病
腎障害のある人は、排泄機能の衰えにより、制酸剤に含まれるマグネシウム、カルシウムなどの塩類の排泄が遅れるため、過量あるいは長期にわたり摂取した場合、これらのイオンが体内に貯留して副作用をおこすおそれがあります。

→次のページに続く

- 第一三共胃腸薬コアブロック散剤
- 第一三共胃腸薬コアブロック錠剤
- 新センロック散剤
- 新センロック錠

【使用上の注意】

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、胃・腹部膨満感

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

口のかわき、便秘、下痢

4. 2週間位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

その他の注意

母乳が出にくくなる場合があります。

【解 説】

→1.(6)の続き

- 心臓病
ロートエキスの抗コリン作用により、心拍数が増加し、心臓に負担をかけるため、症状を悪化させるおそれがあります。
- 緑内障
ロートエキスの抗コリン作用により、房水流水路が狭くなり、眼圧が上昇し、緑内障を悪化させるおそれがあります。
- 甲状腺機能障害
血中カルシウム濃度の上昇により、甲状腺機能低下症や副甲状腺機能亢進症を悪化させるおそれがあります。
- 血栓のある人、血栓症を起こすおそれのある人
セトラキサート塩酸塩は体内で、トラネキサム酸に代謝されます。
トラネキサム散の止血作用は、プラスミンのフィブリン分解作用を阻害し、血栓の溶解を抑制することがあるので、注意が必要です。

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

3. 一過性の軽い副作用としてあらわれることがあります。直ちに服用を中止する必要はありませんが、症状が持続したり増強する場合は、服用を中止して専門家に相談する必要があります。

- 口のかわき
ロートエキスの抗コリン作用により、唾液の分泌が抑制されてあらわれることがあります。
- 便秘
制酸剤に含まれるカルシウム塩により、便秘傾向となる場合があります。
また、ロートエキスにより、胃腸の蠕動運動が抑制されてあらわれることがあります。
- 下痢
制酸剤に含まれるマグネシウム塩により、下痢傾向となる場合があります。

4. 2週間位服用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、服用を中止し、専門家に相談する必要があります。

ロートエキスの抗コリン作用により、母乳の分泌を抑える作用があります。

- **第一三共胃腸薬コアブロック散剤**
- **第一三共胃腸薬コアブロック錠剤**
- **新センロック散剤**
- **新センロック錠**

【使用上の注意】	【解 説】
<p>【用法・用量に関連する注意】 用法・用量を厳守して下さい。</p>	<p>共通事項解説〔8〕参照</p>
<p>【保管及び取扱い上の注意】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。 2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。 3. 他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり品質が変わります） 4. ぬれた手で取り扱わないで下さい。水分が錠剤につくと、表面が一部溶けて、変色又は色むらを生じることがあります。また、ぬれた錠剤をビンに戻すと他の錠剤にも影響を与えますので、戻さないで下さい。 ▶第一三共胃腸薬コアブロック錠剤 ▶新センロック錠 5. ビンの中の詰め物は輸送中の錠剤破損防止用ですので、開封後は捨てて下さい。 ▶第一三共胃腸薬コアブロック錠剤 ▶新センロック錠 6. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。〔また、一度開封した後は、品質保持の点から6カ月以内に服用して下さい。〕* ※第一三共胃腸薬コアブロック錠剤 ※新センロック錠 7. 箱の「開封年月日」記入欄に、開封した日付を記入して下さい。 ▶第一三共胃腸薬コアブロック錠剤 ▶新センロック錠 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共通事項解説〔11〕参照 2. 共通事項解説〔12〕参照 3. 共通事項解説〔13〕参照 4. 共通事項解説〔14〕参照 5. 共通事項解説〔15〕参照 6. 共通事項解説〔17〕参照 〔一度開封した製品は吸湿等により徐々に品質が劣化しますので、品質保持の点から6カ月以内に服用する必要があります。〕 7. 服用可能な期間を確認していただくために、最初に開封した日付を記入する欄を外箱に設けています。